

会員



のひろば



我が家の“育ちと学び”（文鳥のひな）

子どもの貧困の問題と、子どもの権利についても私としても大変心配しています。やはり大人達の収入減が一番問題になり、また親が最近子どもを殺害したり、子ども達の権利についてもどうあるべきか心配しています。

右目の緑内障がいくらか良い方向になってきましたので、そろそろボランティア活動を始めて行きたいと思っていますが、皆様方には大変ご心配とご迷惑をおかけしました。
（富岡市 藤井 幸一）

☆何の罪もない子どもが犠牲になるニュースが本当に多いですね。そのたびに大人の責任を感じます。子どもたちがのびのびと暮らせる社会になるよう、おたがいにがんばりましょう。一日も早い目の快復を祈っています。

名前だけ会員でスミマセン。参加はなかなかできませんが、フォーラムNEWSの到着を楽しみにしております。
（前橋市 大貫 正雄）

☆県立高校の在り方答申批判検討学習会（3〜5ページ参照）に講師として参加していただき、ありがとうございます。大貫さんのおっしゃるように、地域の私たち、生徒、保護者の意見が学校作り反映されることを期待しています。

私はアムネスティインターナショナルの会員を10年以上も続けているので、会員通信（月1回）に同封されているフェアトレード商品のカタログを見て購入してきました。

高校の現代社会の教科書にもとりあげられるように

なったので、多くの人々に関心をもってほしいと思います。東洋大の学生のみならず、商品の背景にあるもの、ことも研究して、お客さんとの会話を楽しんでください。

10/2のシンポで司会をして下さった弁護士の小川晶さん、新聞で来春の県会議員選挙に立候補することを知りました。貧困や格差の問題に若者の視点から発信しようとしてされていることに心からエールを送りたいと思います。
（伊勢崎市 船橋 聖一）

☆フェアトレードの問題を通して、遠い国の労働者の問題を知ることになりましたが、同時に、学生や市民が館林地域の経済活動とも結び付けて活動していることを知って驚きました。運営委員会でも東洋大の学生さん達が独自に開発したフェアトレード商品「分福紅茶」をいただきました。

拙著『シルクロード・青の都に暮らすサマルカンド随想録』（同時代社）をフォーラムに謹呈させていただきます。日本人、ことに若い人の「内向き」が懸念されています。拙著は、日本図書館協会の「選定図書」にもなりました。（中略）ニュースNo.6、どの原稿も面白いのですが、「まんが時評」「すなっぷ・お買い物で国際協力」が印象的でした。

（新会員 東京都 胡口靖夫）
☆本をご寄贈いただきありがとうございました。まだ見ぬズベキスタンの素顔に触れたような気がします。フォーラム事務局にて貸し出しますので、興味のある方はどうぞ。
（敬称略）